

第六十四回帝國議會
衆議院

少年教護法案委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和八年二月二十日(月曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君

理事松田 正一君

中野勇治郎君

丸山 浪彌君

星島 二郎君

犬養 健君

荒川 五郎君

栗原彦三郎君

田中喜代松君

佐藤洋之助君

中野種一郎君

益谷 秀次君

山橋 儀重君

同月十八日委員河上哲太君辭任ニ付其ノ補闕トシテ犬養健君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務參與官 勝田 永吉君

內務省警保局長 松本 學君

社會局長官 丹羽 七郎君

司法參與官 岩本 武助君

文部省普通學務局長 武部 欽一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提

第六類第四號 少年教護法案委員會會議錄

出

未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌君外十二名提出)

出版權法案(原夫次郎君外六名提出)

○牧野委員長 ソレデハ開會致シマス、少年教護法案ニ付テ審議ヲ致シマス、通告ニ從テ山橋君ニ質問ヲ許シマス

○山橋委員 此法案ノ基礎トナルベキモノハ、既ニ施行セラレテ居ル感化法デアルト

思フノデアリマス、感化法ノ規定ニ基ク感化院ノ制度ノミデハマダ目的ヲ達セラレナイ、ソレカラ少年法モ亦關係ヲ致シテ居ル

ト思フノデアリマスガ、少年法ノ規定ノ方針デハ其目的ヲ十分達セラレナイト云フ所

カラ、此教護法ヲ提出者ニ於テ提案スルニ至ツタ思フノデアリマス、ソコデ內務省ハ

現ニ感化法ノ施行ニ付テ責任ヲ負ウテ居ラ

レルノデアリマシテ、內務省ノ過去ノ經驗

竝ニソレニ基ク御意見ヲ私ハ伺ヒタイト思

フノデアリマス

先ヅ伺ヒタイト思ヒマスルコトハ現在十

四歳以下ノ少年デアリマシテ、犯罪行爲ヲ

爲シテ既ニ警察ノ御厄介ニナツテ居ル者、又

爲ス虞レアル者ガ多數ニアルト思フノデア

リマスガ、警察ノ方デ大體左様ナ調ハ出來

テ居ルデアラウト思フノデアリマスガ、ソ

レ等ノ少年ニ付テ、感化院ニ入レルカ若ク

ハ其他ノ方法ニ依ツテ處置スベシト考ヘラ

レタル者デ、未ダ處置セラレテ居ナイ者ニ

付テ、ドノ位アルカト云フコトヲ御調ニ

ナツテ居リマスレバ、ソレヲ承リタイト思フ

ノデアリマス

○丹羽政府委員 只今ノ山橋君ノ御質問ニ

御答致サウト思フノデアリマス、御質問ノ

要旨ハ從來內務省ガ其所管トシテ感化法ヲ

施行シテ居ッテ、其狀況ニ照シマシテ感化院

ニ收容スルノデアリマスガ、其手ノ及バナ

イ所ノ不良兒童ガドノ位アルカト云フ調ヲ

シテ居ルカ、斯ウ云フ大體御尋デアルト思

フノデアリマス、御承知ノ通り不良性ヲ帶

ビタル少年、不良性ヲ帶ビタル兒童ト申シ

マス者ハ、申上ゲル迄モナク非常ニ多數居

ルト思フノデアリマス、從來是等不良性ヲ

帶ビマシタ少年兒童ト云フ者ニ對シマシテ

ハ、一面ニ於テハ少年法ガアリ、一面ニ於

テハ感化法ガアリマシテ、ソレノ領域

ニ於キマシテ、各、其矯正ナリ、或ハ保護教

化、或ハ感化ト云フヤウナ仕事ヲ致シテ居

付託議案

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)

未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌君外十二名提出)

古物商取締法中改正法律案(山本芳治君外二名提出)

出版權法案(原夫次郎君外六名提出)

クハ現ニ切迫シテト云フカ、事情が犯罪ヲ爲ス虞ガ非常ニアルト云フヤウナ、極メテ不良ナル——警察當局ノ視察ヲ致シテ居リマスル不良少年デアリマシテ、此外不良性ヲ帶ビタル者ハマダ澤山アルヤウニ考ヘラレマス、ソレハ程度ノ問題デアリマスガ、此處デハ一應資料ト致シマシテハ、警察當局ノ視察ニ屬シテ居ル不良少年ト云フモノダケシカ、正確ナ數字ハ擧ゲラレナイト思ヒマスカラ、ソレデ御答ト致シタイト思ヒマス

○山根委員 其多數ノ感化ヲ要スル、既ニ警察ノ手ニ渡ッテ居ルモノガアルノデス、尙ホ田舎ナドデハ、警察ノ手ニ渡ラナイ、村デ困ッタクト言ッテ居ル者ガ随分多數ニアラダラウト思ハレルノデス、ソレニ依ッテ感化院ニ收容シテ居ラナイ、多數ノ十四歳以下ノ者ガアルニ相違ナイト想像ニ難クナイノデアリマス、隨テ此教護法ノ問題ガ起ッテ來ルノデアリマスガ、感化院ノミデ收容スルコトヲ目的トセズ、其他ノ種々ナル手段ヲ以テ教護スルト云フコトヲ加ヘテ行クコトガ、此教護法ガ感化法ト異ル點デアルト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ總テノ手段ヲ一方カラ少年法ヲ擴充シテ行ケバ、出來ルノデヤナイカト云フ議論ガ一應成立チ

得ルノデアリマス、少年法ヲ見マスルト十八歳以下ノ少年ト書イテアッテ、最低ノ年齢ガ書イデアリマセヌ、後ノ方ニ至ッテ何條カニ若干ノ制限ガアルカノヤウニ見エルノデアリマスケレドモ、併シソレモ解釋ノ仕様ニ依ッテハ、十四歳以下ノ兒童ニモ亦少年法ノ手續ヲ取ルコトガ出來ルヤウニモ見エルノデアリマス、現ニ感化院ニ入ッテ居ル者モ亦少年法ノ適用ニ依ッテ、矯正院ノ方ニ收容シ、若クハ其他ノ少年法ノ規定ノ處分ヲ取ッテ差支ナイヤウニモ見エルノデアリマス、少年法ハ十四歳以下ニ遠慮ナクアノ精神ヲ以テ、喰入ッテ來ルコトガ出來ルト内務省ハ御考ニナルノデアリマセウカ、是ハ現ニ東京ト大阪ニシカナインノデアリマスガ、若シ豫算ノ都合ニ依ッテ、矯正院ヲ全国各地ニ及ボスト云フコトガ財政上ノ都合ニ依ッテ可能デアッタト致シマス其時ニハ、少年法デ一切サウ云フモノハ處置出來ルモノデアルト内務當局ハ御承知ニナルノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○丹羽政府委員 只今ノ御質問ハ少年法ト感化法トガアルガ、豫算其他ノ關係デ少年法ノ關係ノ設備其他ヲ擴張シテ行ケバソレデ宜シイノカ、ソレデ不良少年ノ問題ハ片付クノカ、斯ウ云フ御尋ダト思ヒマス、是

ハ私カラ申上ゲル迄モナイ事柄ダト思フノデアリマスルガ、少年法ノ成立致シマシタ時ニ、其點ハ當時ノ司法當局ヨリモ十分御説明ガ致シタルト思ヒマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、少年法ト感化法トハ兩々相俟ッテ行クノデアアル、而シテ少年法ノ領域ハドウ云フコトカト申シマスレバ、ソレハ大體ニ於テ犯罪ノ能力ノアル者、責任能力ノアル者ヲ大體目安ニシテ行クノデアアル、即チ十四歳以上ノ者ヲ實際ハ目安ニ致スノデアアル、併ナガラ十四歳ニナラスト雖モ、本當ニ事實客觀的ニ見テ犯罪デアルト云フヤウナコトヲシテ居ル者モ、感化院ノ感化ノ下ニ置イタノデハ十分デナイ場合モアルデアラウ、ソレデアルカラサウ云フモノハ之ヲ少年法ノ領域ニ於テ矯正ヲ致スノデアアル、詰リ其處デ兩者ノ間ヲ調和スル必要ガアル、其必要ヲドウ云フ風ニシテ規定ノ上デ之ヲ規定スルカト言ヘバ、ソレハ少年法ノ第二十八條ノ二項ニ於キマシテ、十四歳ニ滿ザル者ト雖モ、地方長官ガ少年法ノ保護處分ニ附シタイト云フ意見ヲ以テ審判所ニ送致スル場合ニハ、ソレハ少年法ノ領域ニナル、斯ウ云フ規定ヲ設ケマシテ、一口ニ申セバ極メテ情狀ノ重イ者ハ少年法ノ領域ニ服セシメヨウ、情

狀ノ輕イ者ハ感化法デ行ク、此兩者ノ間ヲ調和スル、當時ノ提案者タル所ノ司法當局ノ説明ハ、此處デ文字通りニ申ス譯デハアリマセヌケレドモ、大體ニ於テサウ云フ趣旨デ説明サレテ居ルノデアリマシテ、吾々ノ考ニ於キマシテモ、今日此兩者ソ法律ハ兩々相俟ッテ、サウシテ大局カラ見マスレバ、國家ガ不良少年ニ對スル矯正ナリ、感化ナリ、或ハ保護ナリト云フモノヲ、兩方カラ竝行シ、又調和シテ進ンデ行クベキモノナリト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山根委員 今ノ點ハ極メテ私明瞭ニナタト思フノデス、即チ少年法ニ於テハ十四歳以上ト云フコトヲ主體トシ、感化法ニ於テハ十四歳以下ト云フコトヲ主體トスル、併シ極メテ特別不良ナル十四歳以下ノ者ニ付テノミ、例外トシテ、特殊ノ場合トシテ少年法ニ依ルベキモノデアアル、故ニ少年法ノ規定スル所ノモノガ、經費ノ關係ニ依ッテ全國ニ十分ニ普及シタ場合ト雖モ、極メテ特例的ナモノ、外少年法ノ處分ニハ依ラナイモノデアアル、斯様ナ御解釋デアルト了承致スノデアリマス、ソコデ其問題ハ其程度ニ致シテ置キマシテ、御伺致シタイノデスガ、本案ノ少年教護法ハ感化法ヨリハ少シ範圍ヲ廣クシデアリマス、其廣クシデア

ルノ點ハ、少年法ノ規定ニ於テハ、十四歳以下ノ者ヲ主體トシ、感化法ニ於テハ十四歳以上ノ者ヲ主體トスル、併シ極メテ特別不良ナル十四歳以下ノ者ニ付テノミ、例外トシテ、特殊ノ場合トシテ少年法ニ依ルベキモノデアアル、故ニ少年法ノ規定スル所ノモノガ、經費ノ關係ニ依ッテ全國ニ十分ニ普及シタ場合ト雖モ、極メテ特例的ナモノ、外少年法ノ處分ニハ依ラナイモノデアアル、斯様ナ御解釋デアルト了承致スノデアリマス、ソコデ其問題ハ其程度ニ致シテ置キマシテ、御伺致シタイノデスガ、本案ノ少年教護法ハ感化法ヨリハ少シ範圍ヲ廣クシデアリマス、其廣クシデア

ル範圍ノコトニ付テ、内務當局ニ於テハ左様ナ手段ヲ講ズルコトガ、感化法ノミニ依ラズ、此際極メテ必要デアルト御認ニナッテ居ルカドウカト云フコトヲ一應承ッテ置キタイ

○丹羽政府委員 少年教護法案ヲ拜見致シマス

ト、段々感化法デハ十分デハナイデハナイカトシテ、吾々モ研究致シテ居リマスルヤウナ點ニ規定ガ觸レテ居ルコトヲ認メマス、例ヘバ吾々ガ感化事業ヲ營ンデ居リマスル場合ニ、或不良少年ガアル、其者ガ感化院ニ送致セラレタ場合ニ、其性能ヲ鑑別スルト云フヤウナ必要ヲ全ク感ジテ居ルノデアリマス、サウシテ其性能ヲ鑑別スル場合ニハ色々ノ設備モ要リマスシ、人モ要ルト云フヤウナ譯デアリマスルガ、マダサウ云フ點ハ出来テ居ラス、而モ此鑑別ガ十分ニ行カナケレバ、感化ト云フコトモ亦其效果ヲ擧ゲ難イト云フコトハ、申ス迄モナイト思ヒマス、其外或ハ其鑑別ヲスル間、適當ナル所ニ收容ヲシテ置クカ云フヤウナコトモ必要ニナッテ來ルト思ヒマス、是等ハ段々經費ノ關係モアリマスケレドモ、吾々ハ其必要ヲ感ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、其外色々ノ點ニ於テモアリマスルガ、經費ノ關係上ノ問題ニ於テ、十分考慮ヲ要

スル點ガアルト思ヒマス、モウ一ツハ先程來御尋ノアリマシタヤウナ少年法トノ關係ニ付テ、尙考慮ヲスベキ點ガアルノデハナイカト思ヒマス

○荒川委員 只今ノ御問答ニ關聯シテ一寸

私ヨリ申上ゲルノガ宜イカト思ヒマスノハ、只今ノ御問答ハ明瞭デアアルガ、此少年法制定ノ當時ヨリノ経緯ヲ申セバ、此少年法ヲ初メテ帝國議會ニ出サレタノハ、慥カ大正九年デ、ソレカラ十年、漸ク十一年ニ至ッテ通過シテ法律ニナッタ、其時私ハ委員ニナッテ居リマシテ、能ク其關係ヲ承知シテ居リマスガ、ソレ迄ハ少年法ト云フモノハナクシテ總テテ感化法デ支配シテ居ッタ、其處ヘ持ッテ行ッテ少年法ト云フモノガ初メテ現ハレテ來マシタ、其少年法案ニハ十八歳以下トアル、ソコデ是ガ内務省、司法省ナリ、一般感化業者ノ非常ナ問題トナッテ、此總レノ爲ニ折角出サレタ司法案ガ始メハ通過セズシテ、二年モ續イタノデアリマス、其少年法ニハ十八歳以下トアルノデアリマスカラ、ソレデハ感化法ノ條中ニ皆喰入ルデハナイカト云フノデ、ソコデ其本文カラ改メタイト云フコトデアリマシテ、當時監獄事務官ナル、司法省ノ役人デアアル小河滋次郎博士ナドスラ、最モ此感化法、少年法ノコト

ニ注意セラレテ、全體カラ言ヘバ是ハ矢張感化法ヲ改善シテ、サウシテ此少年ヲ導クベキモノデアッテ、司法ノ管轄トシテ、刑事政策ヲ以テ之ニ臨ミ、是ハ惡人ノ卵デアルト云フコトヲ、即惡人ト云フ刻印ヲ打ツヤウナコトヲスルコトハ、彼等ノ將來ノ働ク手足ヲ奪フヤウナノデアアル、前途アル大切ナル人間ノ彼等少年ガ、世ニ出ル邪魔ニナルヤウナコトヲスルト云フコトハ、是ハ温情ヲ以テ彼等ノ前途ヲ開イテヤルベキ、齊シク陛下ノ赤子ニ對スル國家ノ有難イ精神ヲ以テ臨ム所以デナイ、成ベク是ハ感化法デヤリタイト云フコトヲ言ハレタ、司法省ノ官吏スラ大局カラ見テ斯ク説カレタ位デ、感化ハ一體内務省ノ行政處分トナッテ居リマスガ、其精神ハ教育デアラネバナラヌ、普通ノ教育ハ學校デアルノデアリマスガ、是ハ感化院ト云フ一ツノ學校ト家庭トヲ一緒ニシタモノニシテ、其處デ特別ノ教育ヲシヨウト云フノガ感化法デアッタノデアリマス、其處デ教育シタナラバ、幸ニ義務教育モソレデ修メルコトガ出来ヨウシ、將來世ニ立ツニ惡人ノ卵デアッタト云フヤウナ、又前科者トモ云フベキヤウナ形跡ヲ殘サズシテ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ考デ種々意見ノ交換ガ行ハレ、ソレガ委員中デモ同

感ノ空氣ヲ蔽フヤウナ有様デ、色々苦シダ結果、其後大正十一年ニ至ッテ出サレタノガ、地方長官カラ送ッテ來タモノハ、十四歳以下デモ少年法デ支配スルガ、其以外ハ十四歳ヲ以テ限界トスル、斯ウ云フコトニシヨウ、十四歳ト云フコトガ刑法ニ於テモハッキリ區別ガシテアッテ、刑事上ノ能力ノ有無ヲ玆ニ定メテ居ルカラ、十四歳ヲ限界トシテ其點ヲ明ニシヤウト云フコトニナリマシテ、少年法ハ十四歳以上ヲ原則トシテ支配シ、感化法ハ原則トシテ十四歳以下ヲ支配スル、斯ウ云フコトニ折衝ノ結果、到頭折合ガ付イテ、少年法ガ成立シタノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、少年法ト感化法トハ、第一年齡ノ點デ十四歳ヲ分界トシテ居ルト云フコトガ、先ヅ第一ノ大イナル區別デアリマス、ソレカラ第二ニハ、少年法ハ刑事政策ニ依リ、感化法ハ社會政策ニ依ル、是ハ社會政策ニ基イテ寧ロ教育ヲ致スノデアアル、是ガ第二ノ區別、第三ニ其結果トシテ少年法デハ先ヅ人身ヲ拘束スルモ、感化法デハ教育デスカラ、之ヲ自由ニスル、此拘束スルコトト自由ニスルコトガ、第三ノ區別、ソレヲ致シマスル所以ハ、少年法ハ監視ニ付スル、監視ガ一ノ仕事デアッテ、監視的ニ行フ、ソレカラ感化法

ハ家庭的ニ行フ、即チ家庭的ニ温情ヲ以テ自由ヲ與ヘル、是ガ第四ノ區別デアリマス、第五ニハ、少年法ハ懲治ヲ目的トスル、彼ヲ惡人ト見テ其惡ヲ懲治スル、懲ラシメ治メルト云フノガ少年法ノ目的デアルガ、感化法ハ教育ヲ目的トスル、一ハ懲治ヲ目的トシ、一ハ教育ヲ目的トスル、以上ノヤウナ區別ニ依ッテ、少年法ハ司法省ノ管轄トシ、感化法ハ内務省ノ管轄トスル、斯ウ云フコトニ總テノ點ガ全然ハッキリ區別セラレルコトニナリマシテ、隨テ少年法ノ支配スル區域ト、感化法ノ支配スル區域ハ全然明瞭ニナルコトガ、丁度此少年法ガ感化法ヘ食入ッヤウナ有様デアリマスガ、茲ニ明ナル區別ガ設ケラレタ所以デアリマシテ、此度出シマシタノハ此趣旨ヲ一層明確ニ致シテ、サウシテ一方此教育主義ノ精神ヲ一層徹底スルニハ、義務教育卒業ノ認定ヲ與ヘル必要ガアルノデ、現ニ立派ニ教育的ニヤッテ居ルニ拘ラズ、義務教育ヲ了ヘタト云フコトノ資格モダ與ヘラレテ居ラヌノデアリマスガ、是ハ彼ノ盲啞ナドノ如キハ不完全ナル教育デスラ、義務教育ヲ了ヘタト云フコトヲ認メルコトニナッテ居ル、此方ハ五官ハ完全デアアル、隨テ其教育作業ノ點等ハ盲啞等ノ不具者ヨリハ、餘程十分ニ行ハレ

テ居ルノデアリマス、隨テ是ハ義務教育ヲ了ヘタト云フコトノ證明ヲシテ、卒業ト云フコトニ致シテ、サウシテ彼等ノ前途ニ光明アラシメ、國家ノ温情ヲ表ハス必要ガアルト云フヤウナ意味ガアリマシテ、即チ一ツノ小學校令ノ謂ハバ特例見タヤウナモノデアアル、教育令ノ特例デアリマスカラ、隨テ其精神ヲ示スガ爲ニ、是ハ少年教護法ト改メルコトガ宜イト云フコトハ、全國此方面ニ心ヲ用ヒル感化業者ハ勿論、其以外ノ社會政策家ニ於テモ皆サウ云フヤウニ認メラレテ、是ニハ一致ノ意見デアッテ更ニ反對論モナイノデアリマス、其一致ノ意見ヲ酌ンデ、是ハ感化法ヲ少年教護法ト改題シタノデアリマス、是ハ私ガ付ケタノデハナイ、一般カラ左様ニ議論ノナイ點ヲ明ニスル爲ニ唯サウ致シタ位ナモノデアリマスカラ、ドウゾ其點ハ兩者ノ區別ヲ明ニシテ、今後財政ノ如何ニ拘ハラズ、今日ノ建前カラ少年法ハ感化法ノ仕事ニ喰入ルベキモノデハ斷ジテナイノデアリマスカラ、隨テ今日少年ノ教護ニ一層ノ改善ヲセナケレバナラヌト云フノハ、前ニ警察ガ帳面ニ書キ上ゲテ居ル者ガ、全國ニ六千名アルト言ハレマシタガ、是ハ殆ド罪人同様ノ惡性ノ者ノミデアリマス、其以外ニ於テ非常ニ續々ト殖

エツ、アッテ、其多數ガ市中ニ散在シテ居リマスルカラ小學校ヤ、或ハ中學校ニ行ク者デモ、意志ガ弱イ者ヤナドツイ「カフエー」等ニ引張り込マレテ、サウシテ學校ヲ缺席シタリシテ、自然惡ニ陥ッタリスル者ハ滔々トシテ殖エテ居ル、隨テソレ等ノ校外ノ監督ヲ十分ニシナケレバ、教育ノ目的ハ達セラレヌト云フコトハ、今ヤ教育家ノ非常ニ頭ヲ痛メテ居リマスル輿論トナリ、教場内ノ教育ヨリ此街頭ニ於ケル所ノ注意ヲ要スルコト云フコトガ、非常ナ困難ナ頭ヲ痛メル問題トナッテ居リマス、ソレハ何カト言ヘバ、僅ナサウ云フ不良少年ガアル、ソレニ誘ハレテ、サウシテ良家ノ子女、既ニ此程モ新聞ニモ澤山出テ居リマシタヤウニ、女デモ團體ヲ組ンデヤルヤウナ、サウ云フ惡性ノコトガ行ハレルヤウナコトニナリ、今ヤ不良少年不良化少年トシテ感化教育スベキ者ハ、教育家ノ調べニ依リマススト云フト、ザツト積ッテ重イ者ダケデモ十萬人モ出ヤウト云フ位ノ有様デアアル、今日大阪府並ニ兵庫縣地方デハ校外監督ノ施設ヲ行ッテ居リマス、サウシテ學校ヘ行クト言ヒナガラ、學校ヘ行カズニブラツイタリシテ惡クナリ掛ケテ居ル者、ソレ等ヲ世話ヲスル所ガ出來テ居リマスガ、是ハ今日非常ナ仕事

ニナッテ居リマス、東京ニモドウシテモ是ガ方法ヲ設ケナケレバナナルマイト云フノデ、來ル二十三日ニ東京府知事ガ先ヅ第一ニ、東京府下ノ中學校長ヲ教育會館ニ集メテ、今日ノ如ク滔々トシテ殖エル校外ノ不良化少年ヲ取締ル途ヲ、ドウシタラ宜イカト云フ會議ガ行ハレルコトニナッテ居ル、斯様ナ次第デアリマスカラ、少年教護法ハ殊ニ一日モ早く成立實施ノ必要ガアリマスカラ、若シ箇條ノ中ニ惡イ所ガアレバ御訂正シテ下サッテ、是非速ニ時期ヲ逸セズ今日ノ場合ニ、早行ヒ得ルヤウニ此感化法ノ感化ノ精神ヲ擴ゲ、是等前途ニ不幸ヲ孕ム者ヲ救ヒ上ゲルヤウナ手ヲ御盡シ下サルコトハ、國家ヲ思ハル、方ノ當然考ヘテ下サルコト、思フノデアリマス、ドウゾ此上共御配慮ヲ願ヒタイノデ一言ヲ申添ヘテ置キマス

○牧野委員長 一寸荒川君ニ御尋致シマスガ、只今ノ御説明デ少年法ト感化法トノ適用ノ範圍ノ區別ニ付テハ、十分明瞭ニナッタト思ヒマス、ソコデ感化法ヲ廢シテ本法ヲ制定シナケレバナラヌト云フ特殊ノ理由、感化法ノ部分改正デハ其目的ヲ達シナイト云フ根本理由ヲ御説明願フコトガ、本案ニ於テハ一番必要ダト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ次會ニ箇條書ニ其

理由ヲ御書キ下サツテ、ソレニ付テ御説明ヲ願フタ方、各委員ニ明瞭ニナルト思ヒマスカラ、御願致シマス

○荒川委員 承知致シマシタ

○牧野委員長 ソレカラ文部省ノ政府委員ガ參ッテ居リマスカラ、御質問ガアルナラバ、文部省ノ方ニ御質問ヲ願ヒマス

○山柙委員 只今荒川委員カラ御話ノアリマシタヤウニ、此感化法若クハ今出テ居リマスル少年教護法案ノ目的トナルベキ兒童ハ、極メテ多數デアルト想像セラル、ノデアリマス、ソコデ文部省ニ御伺シタイノデアリマスガ、簡單ナコトカラ御伺致シマスタ、首啞ハマダ所謂義務教育ニナッテ居ラヌト思ヒマス、併シ各道府縣ニ首啞學校ヲ設クベキコトヲ命ジテ居リマス、感化法ニ依ッテ感化院ガ各地ニ設ケラレテアリマスタ、其感化院ニ收容サレテ居リマス兒童ハ、小學校令ノ關係カラ言ヘバ、義務教育ハ免除サレテアルノデアリマスカ、或ハ家庭其他ニ於テ教育ヲ受ケツ、アル者ト云フ範圍ニ入レテアルノデアリマスカ、ドウ云フ處置ヲシテアリマスカ

○武部政府委員 山柙君ノ御尋ニ御答致シマス、感化院ニ收容致シテアリマス兒童ト、義務教育トノ關係ニ於キマシテハ、是

ハ小學校令ノ關係ニ於テ見マスト云フト、就學義務ヲ免除サレタト云フ關係ニモナッテ居リマセヌ、又同時ニ小學校令ノ十五條デアリマシタカニ於テ、市町村立小學校以外ノ即チ家庭其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者、斯様ニ見テ居ルカト申シマス

ト、是モ左様ニハ見テ居リマセヌ、即チ現在マデノ文部省ノ取扱、是ハ屢、地方長官ナドノ照會ニ對シテ、數次回答ヲ出シテ居ルコトモアリマスタ、今マデノ文部省トシテノ、又隨ヒマシテ各府縣同様デアリマスルガ、其取扱ニ依リマスト、是ハ就學義務ヲ履行シ得ザル狀態ニ置イテアル者ト、斯様ニ解釋ヲ致シテ居リマス、是ハ法令ノ規定上左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスタ

○山柙委員 詰リ被教育資格ナキ者、斯様ニ解釋シテ居ラレルノダラウト思フ、或ハ教育スル能ハザル者ト云フ風ニ解釋シテ居ラレルカ、被教育可能性ガナイト解釋シテ居ラレルノカ、或ハ他ノ方面ニ促ヘラレテ居ルカト云フ外的條件ニ依ッテ、教育スル事情ニアラザル者ト解シテ居ラレルノデスカ、即チ能力ノ條件デスカ、外的條件デスカ

○武部政府委員 今山柙君ハ、能力ノ點デアルカ或ハ外的條件ノ爲ニ左様ニナッテ居

ルカト云フ御尋デアリマスタ、是ハ後段ノ方ノ外的條件ト考ヘマス、即チ學齡兒童ヲ就學セシメルノハ親權者後見人ノ義務トナッテ居リマス、小學校ニ入レルコトガ出來ナイデ、感化院ニ入レルコトニナッテ居リマスノハ、是ハ感化法ノ規定カラ其方ニ收容サレルノデアリマスカラ、小學校令ニ依ル親權者後見人ノ義務ノ履行ト云フ形式ニハナラナイト思ヒマス故ニ、小學校ノ教科ヲ修了スルト云フコトニ取扱ヒ得ナイ狀態ナデアリマスタ

○山柙委員 私ハ文部省トシテ此問題ニハ十分ナル關心ヲ持タレル必要ガアルト思フ、ト申シマスノハ、十四歳マデ法律上犯非ノ無能力ノ關係ニ置イテ、或ル意味ニ於テ少年法ト感化法トノ區別ガ立ッテ居リマスタ、今日ノ小學校令ノ規定ノ上カラ言フト、十四歳マデガ義務教育年齢、サウシテ尋常小學校六年、十二歳マデニ大體小學校教育ヲ了ルコトニナッテ居ル、年齢ノ上カラ云フト、十四歳迄デアッテ、十四歳迄ガ教育年齢ニナッテ居ル、其間ニ先程荒川君ノ御話ノ通り、首啞ノ特殊ノ者ニ對シテハ特殊ノ教育ヲ施ス、不具者ニ對シテハ特別ノ教育ヲ施スト云フヤウニ、普通ノ教育ニ付テモ、斯ウ云フ不良ノ性質ヲ帶ビル者ニ付テハ、

特別ノ教育ヲ施スコトガ、是ガ教育ノ本旨デナケレバナラヌト思フ、故ニ教護法ガ出來ルマデモナク、文部省ニ於テ斯ウ云フ特殊ノ義務教育年齢ニ在ル者ニ對シテハ、特殊ノ教育施設ヲ講ゼラレルノガ當然デアルト思ヒマスガ、今日マデノ經過ニ見マスト、何等其處ニ考慮ヲ拂ハレテ居ラナイ、全ク保護處分デアアル所ノ感化法ニ依頼シテ、何等文部省ハ之ニ著眼シテ居ラヌヤウニ思ヒマスガ、其點ニ付テ文部省ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○武部政府委員 現在ハ不良性ヲ帶ビタ兒童ニ付キマシテハ、學校以外ニ、別箇ニ感化法ニ依ル感化院ト云フモノガ施設サレテ居ル、其特殊ノ法律ノ下ニソレ等ノ者ガ規律サレテ居リマスカラ、隨ヒマシテ是ハ同一教育關係ノ者デアルケレドモ、既ニ感化院其モノガ現在アルノデアリマスカラ、不良性ヲ帶ビタ者ハ其方ニ御委セシテ、サウシテ普通兒童ニ付テハ一般教育ノ者トシテ取扱ッテ居リマス、左様ナ譯デアリマスタ

○山柙委員 現ニ司法處分ニ處セラルベキ重大ナル狀態ニアル者ニ付テハ、今ノ御答デ宜シイト思フノデアリマスタ、現ニ共產主義ノ爲ニ檢舉セラレル學生ガ多數ニアリマス、是ガ檢舉セラレテ仕舞ッテカラハ、司

法處分ニ俟ツ外ハナイコトハ申ス迄モナイ、然ルニ斯ノ如キ傾向ヲ持ツ學生ガ相當ニ多數アル、又左様ナ傾向ニ陥ラシメザル爲ニ、特ニ文部省ハ學生主事ヲ各學校ニ配置シテ、サウシテ是ガ爲ニ極力手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、文部省内ニ於テ學生部ヲ置イテ之ヲ統轄シテ居ルヤウナ事情デアル、然ルニ今日ノ社會世相ヲ見マシテモ、種々ナル犯罪ガ行ハレルノデアリマスガ、其犯罪ヲ行フ本ハ小學校ノ義務教育ノ年齡時代ニ於テ培ハレテ居ルト云ハナケレバナラス、其時代ニ不良性ヲ帶ビタ者ガ大人ニナツテ、不良ニナル傾向ヲ以テ居ルト云フコトデアリマスナラバ、共產主義撲滅ノ爲ニ文部省ガ各學校ニ學生主事ヲ置キ、文部省ニ學生部ヲ置クヤウニ、何カ是等ノ爲ニ特別ノ注意ヲスル特別ナ施設ガ行ハレナケレバナラスト思フ、唯一片ノ訓令ヲ出シタカラスト云フ御答辯デハ満足サレマセヌガ、左様ナ特別ナ手段ガ講ゼラレテ居ルカ、若シソレガナイトスルナラバ、何等カサウ云フ手段ヲ講ジテ見タイト云フ御計畫ニナツテ居ルカ、承リタイ

○武部政府委員 此兒童ノ教育ニ對シマシテハ、徳性ヲ涵養シ、德行ヲ獎メテ行クト云フコトガ、是ガ教育ノ根本デアリ、本旨

デナケレバナラスコトハ申ス迄モナイコトデアリマシテ、即チ此學校教育ト致シマシテハ、此兒童ニ對シテ其善行ヲ獎メテ行キ、徳性ヲ涵養スルト云フコトノ爲ニ學校教育ガ實ハ力ヲ盡シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯偶ニ不良性ヲ帶ビマシテ、サウシテ此感化法ノ支配ノ下ニ屬スルト云フ者ニ付キマシテハ、即チ從來感化法ニ依ッテ處理シテ居ッタノデアリマスガ、學校教育自身ハ何處マデモ兒童ヲシテ不良ナラシメズ、善行ヲ行ハシメ、徳性ヲ涵養スルト云フコトニ付テ、是ハ教育トシテハ全體ガ力ヲ盡シテ居ル所以デアリマスカラ、其邊ハ御了承ヲ願ヒタイ、

○山柊委員 今ノ御答ハ一般原則デアリマシテ、一般原則ノ中ニ特殊ナル事例ガ起ッテ來ルノデアリマスカラ、其起ッタ事例ニ付テハ特殊ナル手段ヲ講ズル必要ガアルノデアリマス、若シ今ノ御答デ言フナラバ、學生主事ヲ置ク必要ハナイノデアリマス、大學、高等學校ノ目的ハ人格ノ養成ニアルトアリマスカラ、ソレハ皆教授ガ普通ニヤツテ居レバ宜イノデアリマスガ、特殊ナル手段ヲ要スル場合ガアル、私ハ左様ニ考ヘルノデアリマス、其點ハ敢テ重ネテ御伺ヒ致サウト思ヒマセヌガ、ソコ更ニ根本ニ入ッ

テ考ヘマスト、斯様ナ不良性ヲ帶ブル者ハ多ク低能兒デアリマス、中ニハ學業ノ成績ハ智的ニハ優秀ナ者モアリマスケレドモ、大體ニ於テ學業成績ノ惡イ、所謂低能兒ノ部類カラ此不良兒ガ多數ニ現ハレテ來ルノデアリマス、サウシテ此低能兒ノ程度ハ甚ダ明瞭ヲ缺クノデアリマスケレドモ、極メテ多數デアルト思フノデアリマス、其低能兒ニ對シテ東京、大阪等ニ於テ若干ノ特別教育施設ガアルヤウデアリマスケレドモ、之ニ對シテ文部省ノ特別ノ注意ガ少イ爲ニ、折角始メ掛ケテ居ッタモノヲ又後戻リシテ、之ヲ廢止スルガ如キ傾向ガアルヤウニ見ヘルノデアリマス、今日劣等兒ノ特別取扱ニ對スル文部省ノ執ッテ居ラレマスル手段、施設等ノ要點ダケヲ簡單ニ承リタイ、

○武部政府委員 低能兒其他一般ノ——是ハ特殊教育ノ方面ニナルト思マスルガ、之ニ付キマシテハ從來トテモ敢テ之ヲ等閑ニ附シテ居ルト云フ譯デハ決シテゴザイマセヌ、文部省ハ此特殊教育ノ獎勵ト云フコトニハ機會アル毎ニ是ガ施設ヲ行ハシメルヤウニ實ハ努メシメテ居ルノデアリマス、唯遺憾ナガラ大都會ノヤウナ相當資力ノ有ル所ニ於キマシテハ、小學校ナドデ、是ガ爲ニ特ニ行ヒ得ルノデアリマスケレドモ、併

ナガラ是等ノ低能兒ト云フモノハ、全體ノ學齡兒童中カラ言ヘバ、極ク數ノ澤山ノモノデハナイ、其僅ナモノニ付テ町村ガ特殊施設ヲスルト云フコトハ、如何ニモ經濟上等ノ關係カラ困難ヲ感ジテ居リマスルガ爲ニ、今山柊君ガ言ハレルヤウナ、洵ニ十分ナコトニ行キ兼ねテ居ルヤウナ次第デアリマス、其點ハ當局トシテハ洵ニ遺憾ニ思マシテ居リマス、併シ此特殊教育ハ出來ルダケ之ヲ勸メタイト思ヒマシテ、機會アル毎ニ此施設ヲ獎勵致シテ居ルヤウナ譯デアリ、又是等ノコトハ一般ノ教育者、學問ヲスルモノニ付キマシテモ、特殊ノ又研究ヲ必要トスルノデアリマス、隨ヒマシテソレ等ノ教育ノ方面ノ研究ト云フコトニ付テモ、出來ルダケ獎勵ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○山柊委員 文部省ノ斯ウ云フ特殊ナ兒童ニ對スル注意ガ私ハ甚ダ足りナイト思フノデアリマス、現ニ低能兒ニ付キマシテハ、程度ノ低イモノハ普通ノ學校デ特別ノ手段ヲ講ジテ居リマスガ、少シ程度ノ高イモノニ付テ、例ヘバ大阪ノ桃花塾デアルトカ、京都ノ白川學園ダトカ云フヤウナ特別ノ施設ガアル、即チ此施設ハ私共カラ見マスト教育施設デアルト考ヘマスルノニ、是ハ內務省社會局ガ大體ニ於テ管理シテ居ラレル

形ニナッテ居ルト思フノデアリマス、サウシテ其保護ノ爲ニ内務省社會局ハ、或ハ慶福會ノ補助金ヲ使用シ、或ハ紀元節ニ於ケル特別ナ恩賜金ノ世話ヲシテ居ル、矢張此桃花塾、白川學園ノ發達ノ爲ニ努力シテ居ラレルノデアリマス、マルデ私ハ考ヘ方違ッテ居ルト思フ、私共各省ノ所管ヲ助長スルヤウナコトヲ申上ゲル積リデハナイノデアリマス、併シ文部省ハ唯ボンヤリシテ居ラレルト申スト甚ダ語弊ガアリマスガ、棄テ、置カレル、而モサウ云フモノガアリ、保護シナケレバナラヌノニ、内務省ガ國民保護ノ立場カラ其處ニ手ヲ著ケテ行カレル、文部省ガ實際ヤラルベキコトヲ内務省ニ於テ手ヲ著ケラレル、其處ニ金ノ都合モ付ク、斯ウ云フコトニナッテ來テ居ル、茲ニ私ハ間違ガアルト思フノデアリマス、此敎護法ノ問題ニ付キマシテモ、私共考慮スベキ點ガアルト思フ、少年法ガアリ、而シテ感化法ガアリ、更ニ學校ノ特殊教育ト云フモノガアリ、關係省ヲ申シマスルナラバ、司法省、内務省、文部省、此三省ニ互ッテ不良兒童ヲ保護セラレル、何處ニ在ッテモ國家ノ立場カラ見レバ同ジデアリマス、感化法ヲ司法省管轄ニ持ッテ行カレテモ、或ハ文部省ニ持ッテ行カレテモ同ジヤウナ、國家

トシテハ何處ニ在ッテモ同ジヤウナモノデアリマスガ、併シ各省ニハ各省ノ氣分ト云フモノガアリ、立場ト云フモノガアリマス、司法省ニアリマス云フト、ドウシテモ所謂刑罰的ノ頭ヲ有ッテ居ラレマス、其頭カラ見ルカラシテ、今日ノ矯正院ノ遣方ヲ見マスト、私聞ク所ニ依リマス殆ド監獄ニ類スルヤウナ取扱方ガアル、是ハ大體ノ省ノ空氣カラシテ、無理カラヌコトデアルト私ハ思フノデアリマス、内務省ニ行キマスト、感化法ガ非常ニ教育的ニナッテ、其名前モ學校ノヤウナ名前ガ感化院ニハ付イテ居リマス、併シ私ハ詳シクハ知リマセヌガ、矢張内務省ノ頭ハ、保護スル頭ガ、社會カラ隔離スルトカ保護スルトカ言フ頭デ行カレル、或ハ社會局ノ立場カラ、消極的ノ立場カラ行ク空氣ガアルト思フノデアリマス、其處ニ感化院ガ純粹教育ノ立場ニ立チ得テ居ルカドウカト云フコトヲ、私ハ若干疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、是ガ或ル程度マデ斯ウ云ウ不良兒ノ教育ガ、文部省ノ所管ニ移サレルト云フコトガ出來マснаラバ、其處ニ純粹教育ノ立場ニ立得ルト思フノデアリマス、先程私カラ社會局長官ニ少年法ノ感化院ノ範圍ノコトヲ承タノデゴザイマスガ、其處ニ私ハ著眼的ガアル

ノデアリマシテ、十四歳以下ノ兒童ニ迄モ司法省ノ頭デ以テ之ヲ取扱ハレテハ、飛ンデモナイ結果ニ陥ルト云フ御考ガアルカラ、其範圍ヲ限定スルコトヲ私ハ明白ニシヨウ、而シテ此次ニ司法省ノ政府委員ガ來ラレタナラバ、其内務省ノ所見ヲ以テ、司法省ニハッキリ質シテ置キタイト云フ準備ノ爲ニ御見解ヲ承ッテ居ルノデアリマシテ、本日司法省ノ政府委員ハ此處ニ出掛ケラレルコトガ出來ナイト云フコトデアリマスカラ、他ノ機會ニ讓リタイト思フノデアリマスガ、私ハ文部省ノ政府委員ニ特ニ御出席ヲ仰イデ居ッタノハ、此特殊ノ、斯ウ云フ兒童ノ爲ニ、文部省ハモウ少シ力ヲ入レテ下サルコトガ、而シテ殊ニ低能兒ヲ救済シテ行クコトガ、此不良兒ヲ少クスル重大ナル原因ニナルト思フノデアリマシテ、不良兒ニナッテシマッテカラ、感化院ダノ、矯正院ダノ言ッテ騒イデ居ッテモ駄目デアリマス、其處ニ至ラザル中ニ之ヲ救済スルニハ、ドウシテモ文部省ガ斯ウ云フ特殊ノ傾向ヲ有ツ兒童ノ爲ニ、特別ナ手段ヲ構ジテ努力ヲセラレルコトガ必要デアラウト云フ考カラ致シマシテ、御出ヲ願ッテ御所見ヲ伺ヒ、且ツ私共ノ所見ヲ申上ゲタ次第ナノデアリマス、私ハ此問題ニ付テ、司法當局

ガ御出ニナリマシテカラ、一層此問題ニ付テ明ニシタイ、承ル所ニ依ルト司法當局ハ此救護法ニ反對シテ居ラレル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、其根據ヲ突ツメテ行キタイト思フ、其基礎ノ爲ニ承ルト、内務省ハ大體ニ於テ之ニ御賛成ノ趣デアリマス、此事ダケ今日明カニ致シマシタコトハ私洵ニ幸デアリマシテ、司法省ノ質疑ハ此次ニ保留致シマシテ、私ノ質疑ハ此程度デ打切ッテ置キマス

○牧野委員長 ソレデハ今日司法省ノ政府委員ハ差支ガアッテ參リマセヌカラ、救護法ハ此程度デ審議ヲ止メマス

○牧野委員長 次ハ未成年者禁酒法ニ移リマス——提案者カラ御説明ヲ願ヒマス

○丸山委員 改メテ仔細ノ説明ト云フ程デモアリマセヌ、申上ゲル迄モナイコト、思ヒマス、是ハ吾々提案者ニ於テハ、最モ時代ノ要求デアルト確信スルモノデアリマシテ、本會議ニ於テ、反對ノ御質問モ澤山アリマシタガ、此提案ノ裏面ニハ、飲酒ノ絶對禁止ヲ意味シテ居ル、隨テ財政上其他各方面ニ一大「ショック」ヲ與フル重大問題デアルガ故ニ、容易ニ賛成出來ナイト云フヤウナ御意見ヲ伺ッテ居ッタノデアリマスガ、吾々ガ茲ニ此法案ヲ提出スル所以ノモノ

ハ、敢テ他ニ深キ意味ヲ有ッテ居ルモノデハナイ、現レタル法文ノ上ニ於テモ最モ簡單デ、二十五歳迄ノ青年ニシテ「アルコール」性ヲ飲用セシメルコトハ、國家ノ爲ニ一大損害ヲ醸サシメル憂ガアル、此意味ニ於テ本改正案ヲ提出シタノデアリマス、ドウゾ御審議ノ上御賛成アラシコトヲ望ミマス

○牧野委員長 一寸丸山君ニ御尋シマシガ、何カ之ニ付テ參考資料ガアリマスカ、例ヘバ二十歳以上二十五歳迄ノ青年ニシテ、飲酒ノ爲ニ非常ナ弊害ガ起ツタト云フ統計デモアリマセウカ

○丸山委員 色々アリマスカラ差上ゲマセウ

○星島委員 次會デ宜シウゴザイマスガ、大藏當局ニ酒類ニ關スル質問ヲシタイと思ヒマスカラ、大藏當局ノ出席ヲ煩シタイ

○牧野委員長 承知シマシタ

○中野委員 私ハ現行ノ未成年者飲酒禁止法ノ下ニ於テ、犯則者トシテ處罰ヲ受ケタ者ノ年齢別ノ統計ヲ、一ツ内務省カラ御提出ヲ願ヒタイと思ヒマス

○荒川委員 既ニ御要求ガアッタノカモ知レマセヌガ、未成年者飲酒禁止法制定以來ノ其實施ノ狀況、ソレカラドノ程度ニソレ

ヲ監督シテ居ラレカト云フコト、其違反者ノ表ヲ御示ヲ願ヒマス

○牧野委員長 内務省ニ御願シマスガ、未成年者飲酒禁止法ノ違反者ノ年齢別、ソレカラ取締ニ關スル一般狀況ノ資料ノ提出ヲ願ヒタイ、是ハ司法省カ内務省カ能ク分リマセヌカラ、内務省ニ一應御願シテ司法省ノ方ガ來タ時ニ又司法省ニ申シマセウ——本日ハ此法案ノ審議ハ此程度デ止メマス

○丸山委員 一寸御伺シマスガ、次會ハ何時御開キデスカ

○牧野委員長 明後日開キマス

○牧野委員長 ソレカラ次ハ古物商取締法中改正法律案デスガ、是ハドナタカ提案ノ理由ヲ説明ナサル方ハアリマセヌカ——山本芳治君ガ此前ハ説明ノ爲ニ來ラレテ居ッタノデアリマスガ、今日ハ見エテ居リマセヌカラ、是モ此次ニ續行スルコトニ致シマス

○牧野委員長 其次ハ出版權法、之ニ付テドナタカ提案ノ御説明ヲ願ヒマス

○山根委員 本法ノ提出者ノ一人トシテ趣旨ヲ此機會ニ御聞キヲ願ヒタイ、大要ハ先般本會議ニ於テ提出者タル原議員ヨリ説明モアッタノデアリマスガ、委員諸君ニハ御

迷惑デアリマスガ、モウ一度要領ヲ御聞キ願ヒマス

本法制定ヲ希望致シマスル要旨ノ一ツハ、著作權ハ著作權ヲ有ッテ居リマシテ、是ガ出版ヲ出版者ニ依頼致シマス、出版者ハ是ガ印刷ニ關スル、或ハ植字或ハ紙型其他ノ費用ヲ掛ケマス、更ニ廣告ヲシテ費用ヲ掛ケマス、其他種々ナル手段ニ依ッテ之ヲ成ベク多ク賣ル爲ニ奔走スルノデアリマス、然ルニ中途ニシテ著作權者ガ他ノ出版者ニ是ガ出版ヲ依頼スルト云フヤウナ事實ガ過去ニ於テ間々起ッテ居ルノデアリマス、スルト甲ノ出版者ハ最初依頼ヲ受ケテ盛ニ廣告ヲシテ相當ノ賣行ニナツタ、サウスルト之ヲ著作權者ハ乙ノ出版者ニ持ッテ行ッテ出版セシメル、サウスルト乙ノ出版者ハ廣告料ナドモ要シナイデ、他人ノ廣告ニ依ッテ、之ヲ販賣スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、印税モ著作權者ニ餘計出スデアリマセウ、或ハ書籍ノ定價モ引下ゲルデアリマセウ、サウシテ讀者モ著作權者モ最初ノ甲ナル出版者ノ損害ニ依ッテ利益ヲ受ケテ行ク、斯ウ云フヤウナ事實ガ屢起ルサウデアリマス、故ニ茲ニ出版者モ亦出版權ヲ持チ、自己ガ出版スルノ契約ガ成立シタナラバ、著作權者ハ出版者ノ許諾ヲ得ズシテ、

或ハ其他ノ善意ノ原因ニ依ルニアラザル限リ、他ノ出版者ニ之ヲ引受ケセシムルコトノ出來ナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フコトガ一ツノ目的デアリマス、モウ一ツハ左様ニ致シマシテ、出版權ヲ得テ居リマスト云フト、此出版權カラシテ利益ガ舉ルノデアリマス、利益ガ舉レバ其出版權ト云フモノハ一ツノ價值ヲ有ツコトニナルノデアリマスルガ故ニ、茲ニ之ヲ質權設定ノ目的ニスルコトノ出來ルヤウニシタイ、サウスレバ出版者ハ非常ナ利益ヲ得ルコトガ出來ルト思フノデアリマス

此二點ガ大體ノ骨子デアアルノデアリマシテ、毎度提案シテ一度本院ヲ通過シタコトガアリマス、内務省ニ於テモ是ガ必要ヲ認メラレテ、特ニ斯ウ云フ業者トノ間ノ懇談ヲ遂ゲラレマシテ、或ル程度ノ成案ヲ得ル程度マデ達シ居ッタコトモアルノデアリマス、ドウカ委員諸君ニ於カセラレマシテモ、此趣旨ヲ御諒承下サイマシテ、本案ニ御賛成願ヒタイと思ヒマス、唯最近著作者ノ方カラ、本案ニ反對スルノ意見ガ新聞ニ公表セラレ、若クハ運動ガ起ッテ居ルヤウデアリマス、是ハ出版業者ガ自己ノ我利ノ利益ノ爲ニノミ考ヘテ居ルノデアッテ、著作者ヲ壓迫スル法案デアルト云フヤウニモ説明ヲセラレテ

居ルヤウデアリマスガ、前段私ガ申上ゲルヤウナ次第デアッテ、著作者ノ間ニ於テモ亦多少ノ斯様ナ法律ヲ必要トスルヤウナコトヲ爲サレタコトモ、或點ニ於テ責任ヲ負ハナケレバナラヌ點ガアルデアラウト思フノデアリマス、私自身ト致シマシテハ、出版業者デハナイノデアリマシテ、却テ著作者デアリマシテ、既ニ數冊ノ著書ヲ出版致シテ居リマス、其關係カラシテ出版者ト懇意ニナリマス所カラ、斯様ナ話ヲ承ッテ、提案者ノ一人ニ相成ッテ居ル次第デアリマス、私ハ公平ナ立場ニ於テ、此處置ヲ執ルコトガ營業上、又社會ノ混亂紛糾ヲ防グ上ニ於テ、適切デアルト思ッテ提案シタ次第デアリマス、何卒御諒承願ヒタイト思ヒマス

○中野委員 一寸提案者ニ御尋シテ見タイコトガアリマス、成程第一ノ出版者ガ折角相當ナ費用ト手數ヲ掛ケテ世ノ中ニ賣出シタ所ヘ、其著作權者ニ其權利ヲ蹂躪セラレルト云フコトハ、甚ダ氣ノ毒ナ次第デアリマスルカラ、此趣旨ハ私共モ宜イト思ヒマス、此六條ニアリマスル著作者ガ自己ノ一生ノ著作ヲ集メタ全集ヲ發行セントスル場合ニ於テモ、出版權ガ十五ケ年間ヲ經過セナケレバ全集ニモスルコトガ出來ナイ、此制限ハ餘リ酷デハナイカト考ヘルノデアリ

マス、即チ或ル甲ナル本ノミニ付テ言ヘバ、成程十年ナリ十五年ノ出版權ヲ認メテ宜イノデアリマス、全集ヲ發行スルト云フヤウナ場合ニ、是ガ十五年モ經過シテシマッタノデハ、全集ノ發行時期ヲ失フコトガ往アルノデアリマス、例ヘバ相當ノ著作者デアッテ、突然亡クナラレタヤウナ場合ニ、其遺族ガ全集ヲ發行シタイト云フヤウナコトガアリマス、是ハ社會的ニモ認メラレルコトデアリマス、併ナガラ大事ナモノヲ一ツヤニツ遺シタ全集デハ全集ノ意味ヲ成サナイ、斯ウ云フ場合ニハ特例ヲ設ケルナリ何ナリシテ、全部ノ著作物ヲ此全集ニ取入レテ、社會ニ貢獻スル上ニ於テ、之ヲモット緩和スル方法ガナイノデアリマスカドウカ、之ニ對スル提案者ノ御意見ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○山柘委員 只今ノ御議論御尤ノ點モアルト私ハ思フノデアリマス、吾々ノ方デハ之ヲ十五年ト考ヘタノデアリマス、併シソレハ或ハサウ云フ必要上短イ方ガ宜イト云フノナラバ、必ズシモ十五年ナド、云フ年限ヲ固執スルモノデハアリマセヌ、又是ガ出版者ト著作者トノ間ニ善意ノ交渉ガ成立スレバ無論宜イノデアリマスガ、善意ノ交渉ガ成立セザル場合、此法律ヲ楯ニ取ッテ高イ

値ヲ吹掛ケルト云フコトニナレバ、交渉ガ成立シナイ、ソコデ全集ノ出版者ハ之ヲ入ルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ガアリマスレバ、善意ノ著作者ヲ害スル所以デアルト思ヒマスルカラ、ソレニ對シテハ若シ今ノ中野君ノ御質問ノ趣旨ヲ貫徹セシムベキ除外例ノ但書、或ハ其他ノ方法ヲ設ケ得ルコトガアリマサラバ、善意ノ第三者ヲ保護シ得ル途デアルナラバ、私共喜ンデ讓ッテ差支ナイト思フノデアリマス

○犬養委員 只今提案者ノ説明ヲ拜聽致シマシタ、併ナガラ正直ニ申上ゲマス、御趣意ハ非常ニ宜イコトデアリマス、著作者ガ著作權ト云フモノヲ有ッテ居ル、同時ニ色色ナ廣告代、或ハ勞力、或ハ其他ノ雜他ナ費用ヲ使ッテ、一ツノ本ヲ世ノ中ニ出シテ居ル所ノコトヲ業務ト爲シテ居ル出版者ガ、出版權ト云フモノヲ有ツノハ必要デス、必要デスガ其根本ノ趣旨ヲ別トシテ、玆ニ現ハレタ法文ハ餘程氣持ガ違フト思フノデアリマス、恐ラク山柘サンノ今御説明ニナリマシタ提案ノ理由ト云フモノハ、山柘サンノ御人格カラ獨立シテ現ハレタコトデ、此條文ヲ能ク御讀ミニナラナカッタノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ其證據ノ現レトシテ、中野委員カラ此中ノ雜多ナ缺點ノ中ノ

ホンノ一ツヲ申上ゲルトソレハサウデアラウト言レル、是ハ山柘サンノ美點デアルト同時ニ、此法文ノ缺點ノ現レデアルト思ヒマス、ソレデスカラ提案者ノ仰シヤル根本趣意ハ結構デアルガ、其結構ナ趣意トマルデ違ッタコトガ此中ニ書イテアル、ソレデ私ハ大變僭越デゴザイマスガ、他ノ委員モ能ク御存知ナイヤウデスカラ、一ツ説明申上ゲタイト思ヒマス

出版權法ノ第一條ニ「著作權ノ存セサル著作物ヲ複製シ」ト云フ言葉ガ使ッデアリマス、ソレカラ第二條ノ第二項ニモ「著作權法第一條ニ依リ著作者ノ有スル著作物複製ノ權利ハ出版權ノ存續中著作者ヨリ發行者ニ移轉シタルモノト看做ス」是亦複製ト云フ言葉ガ使ッデアリマス、所ガ此複製ト云フ言葉ハ著作權法ニ於テハ、實ハ繼續出版——第一版、第二版、第三版、第四版ト云フ、アノ繼續出版ノ意味ニハ使ッテ居ラレマセヌ、是ハ放送權或ハ脚色權、斯ウ云フモノモ全部含マレテ居リマス、例ヘバ私ガ一ツノ小説ヲ書キマス、スルト之ヲ出版者ノ方ニ於テ戯曲ニ變ヘル、或ハ「レビュー」ニ變ヘル、或ハ活動寫眞ニ變ヘル、斯ウ云フ權利ヲモ包含シテ居ルノデス、ソレデアルカラ出版權ト云フモノハ出版者ニ移ルト

同時ニ、其小説ヲ脚色デモ何デモ出來ルト云フ權利モ包含スルト云フコトハ、藝術的良心カラ言フテモ不都合デアアルシ、藝術的良心ヲ外ニシテ、權利義務ノ觀念カラ言フテモ不都合デアルト思ヒマス、此事ヲ一ツ提案者ガ寛大ナ御心持デ御熟考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第四條デゴザイマスガ、此中ニ「著作權ノ消滅ト同時ニ出版權モ亦消滅ス」ト書イテアリマス、此著作權ト云フモノハ、私ノ認識ガ若シ誤リデナケレバ、著作權法ニ於テハ著作シタ時カラ三十年續クヤウニナッテ居ル筈デアリマス、所ガ例ヘバ私ガ今年本ヲ書キマス、來年死ニマス、死ンデモ三十年ハ著作權ト竝行シテ出版權ガ出版屋ニ在ルト云フコトニナリマスカラ、先程中野君ノ仰シヤッタヤウニ、三十年間ハ他ノ形式ニ依リ如何ナル全集其他ノモノモ出セナイ、斯ウ云フ不都合ガ同時ニ含マレルト云フコトニナルノデアリマス、尤モ是ハ出版者ノ方デモ御考慮ニナリマシタモノト見エマシテ、第六條ニ於テ「著作物ガ發行セラレタル後十五年ヲ經過シタルトキハ出版權ノ存續中ト雖著作權者ハ之ヲ全集其ノ他ノ編輯物ノ一部ヲ分離シテ發行スルコトヲ得、但シ出版契約ニ於テ特ニ之ト異リタル定ヲ爲スコトヲ妨グズ」第一此

利用ト云フ言葉ガ頗ル法文トシテハ、カッチリ致シテ居ナイト私ハ思ヒマス、雜感的ナ感想的ナ文字ダト思ヒマス、ソレカラサウ云フ文字ノ使方ヲ別ト致シマシテモ、先刻中野君ガ仰シヤッタヤウニ、十五年ヲ經過シタ時ニ初メテ大養健全集或ハ山耕儀重全集ト云フモノガ出ルト云フコトハ不都合デアラウト思ヒマス、此箇條ニ關聯シテ、私ハ日本ノ讀書階級ノ讀書ニ對スル傾向ヲ一ツ申上ゲタイト思ヒマス、一體日本人ハ非常ニ熱シ易ク冷メ易ク、又著作家ノ方カラ言ヒマス、現在特ニ千古ノ名著ト云フヤウナモノハ書キニクイ、是ハ社會思想ノ混亂ガアリマシテ、ドウ云フ思想ヲ根據ニシテ書クカト云フヤウナコトガ一時代前ヨリモ混亂シテ居リマスノデ、確乎タル名著ト云フモノガ出惡イ今ハ時代デハナイカト思ヒマス、是ハマア著作家ノ方ノ罪デアリマス、併ナガラ讀ム方ノ傾向カラ申シマスルナラバ、熱シ易ク冷メ易イ、一ツノ本ガ出テカラ一年絶ヘズ賣レルト云フヤウナ本ハ餘程大變ナ本デアアル、ソレカラ本屋ノ方カラ見マシテモ、利益ノ收メ方ガ——隨テ讀書力ノ傾向ニ依リマシテ、集中的デアアル、非常ニバツト賣レテ利益ヲ得テ、一年後モダラ／＼利益ヲ得ルト云フコトハ殆ド私ハ例ヲ見マ

セス、ソレデスカラ廣告モ集中的ニヤル、讀ム方モ集中的ニ買ッテ讀ム、賣ル方モ集中的ニ賣ッテシマフ、サウシテ半年位經ッテシマウト熱ガ冷メル、熱シ易ク冷メ易イト云フコトガ善イカ惡イカ批評ハ別ニ致シマシテ、日本ノ讀書階級ノ特徵デス、總テノ法律ト云フモノハ國民性、習慣ニ順應シナケレバ本當ニ活キタル法律デハナイト私ハ思ッテ居リマス、ソレデスカラ日本ノ讀書階級ノ集中的傾向、出版者ノ利益ノ收メ方ノ集中的傾向、斯ウ云フコトモ此法ノ提案者ニ於テ寛大ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラシテ十五年ヲ經過スルナント云フコトハ非常ナ非常識ダト、私ハ酷言ヲ許シテ戴ケバ評シ得ルト思ヒマス、一年間實行ガドン／＼續イテ本屋ノ懷ガ暖マリ得ルト云フコトハ殆ド今考ヘ得ラレマセス、デスカラ是ハ色々論者ガアリマシテ、一年トカ或ハ半年箇年トカ言フ人モアリマスガ、私ハ常識的ニ公平ナ立場カラ考ヘテ、二年位デ宜イノデヤナイカ、日本ノ本ノ實行キカラ考ヘテ、熱シ易ク冷メ易イ日本ノ國民性モ併セテ考慮ニ入レテ、二年位デ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス、是モ極ク懇談的ニ提出者ニ於テ御考置ヲ願ヒタイト

思ヒマス
ソレカラ特ニモウ一ツ心配ニナルノハ、著作家側カラ言フテ嚙カシ心配デアラウト思ヒマスノハ、第七條デアッテ、「出版權ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得」斯ウ云フコトデアリマスガ、出版者ノ側、或ハ著作家ノ側、等シク國民ノ各階級ニ屬シテ居ル双方ノ利益ヲ最モ圓滿ニ圖ラウト云フ法律ヲ出シマス以上ハ、斯ウ云フ箇條書ニ付テハ著作權者ノ同意ヲ要ス、斯ウ云フコトガ矢張必要デハナイカト思ヒマス、仄聞致シマス所ニ依リマス、瑞西或ハ獨逸ニ於テハ著作家ノ同意ガナケレバ之ヲ得ズト云フ風ニ、高飛車ニ禁ジテアルヤウニ承ッテ居リマス、斯ウ云フ箇條書ヲ御入レニナリマス以上ハ、國民ノモウ一ツノ側ノ職業、モウ一ツノ側ノ階級ノ同意ヲ得ルト云フコトガ、矢張法トシテハ妥當デハナイカト思ヒマス
ソレカラ第九條ニ「出版權者ハ著作物發行ノ時ヨリ三年ヲ經過シタル後ニ於テ其著作物ニ對スル一般ノ需要少ク爾後ノ發行ヲ繼續スルモ利益ナキ場合ニハ著作權者ニ通告シテ其ノ著作物ノ發行ヲ絶止スルコトヲ得」利益ナキト云フ言葉ハ一體法文トシテドンナコトデアルカ、甚ダ曖昧ダト思ヒマス、現在ノ實生活ニ於キマス出版者ハ、

小サイ出版家ノ方モアラレマセウガ、兎ニ角一ツノ資本ヲ持ッテ居リマス、著作家ノ方ハ餘リ金持ト云フ人ハ顔ヲ見タコトハアリマセヌ、其金持デナイ著作家ガドウ云フ風ニ本ヲ書イテ居ルカト云フト、今月ノ二十日マデニ書イテシマヘバ金ガ入ルノダガト思ヒナガラモ、藝術の良心ニ駭ラレテ、遂ニ三十日ニナッデモ、來月ノ五日ニナッデモ、其方ガ精神的ニ満足ダ、自分ハ善ノ生活ヲヤッテ居ル、斯ウ云フ氣持デ利益ヲ免角度外視シ勝ナ人ガ多イト私ハ思ヒマス、ソレデスカラ實際ノ場合ニ於テ、資本ヲ擁シテ居ル所ノ強者タル出版者ト、資本ガ無クシテサウシテ物的要素以外ニ一種ノ精神的満足ヲ求メテ、簡素ナ生活ヲシテ居ル著作家トノ間ニ於テ、利益ナキ場合ニハ云々ノ如キ曖昧ナ法文ガ其處ニ横ハルト云フコトハ、非常ナ差支ガ起リハシナイカト思フノデアリマス

ソレカラ第十條ニ「出版權者カ正當ノ理由ナクシテ著作物ノ複製又ハ發賣頒布ヲ一年以上怠リタルトキハ著作權者ニ於テ相當ノ期間ヲ定メテ其ノ履行ヲ催告シ其ノ期間内ニ履行ヲ得サルトキハ將來ニ向テ出版契約ヲ解除スルコトヲ得」是ハ著作家側ニ對シテ非常ナ御同情ノ御氣持ノ現レト思ヒマ

スガ、不幸ニシテ其御氣持ハ法文ニ竝行シテ現レテ居リマセヌ、何トナレバ正當ノ理由ナクシテト云フ言葉ガ一體曖昧デハナイカ、ソレカラ著作物ノ複製又ハ發賣頒布ヲ一年以上怠リタルトキハ、其怠リタルト云フ言葉ガ一體形容詞的デハナイカ、例ヘバコシナ事ガ私ハアリハシナイカト思フノデス、怠ッテ居ルデハナイカト、著作家側カラ言フト、本屋ガ一分カ二分ノ印税、即チ一圓ノ本デ一割ノ契約ナラ十錢、十錢ノ印紙ヲ一枚カ二枚持ッテ來テ一分カ二分出シマス、斯ウ言ッテ逃ゲラレタナラバ、怠リタルト云フ言葉ニ當敵ルカ當敵ラナイカト云フ論ガ其處ニ又行ハレル、斯ウ云フコトニナッテ來マシテ、結局道德的判斷ニ依ラザルヲ得ナイ、道德的判斷ニ依ラザルヲ得ナイヤウナ曖昧ナ法文ナラバ、法トシテ意味ヲ爲サヌ、道德的話合ト云フモノハ社會ガアリマス以上常ニ行ハレテ居ルノデ、ソレニ委セルト云フナラバ、法律ノ必要ハナイ、法律ヲ作ルナラバ、カッチリトシタ字義ノ曖昧デナイモノヲ作ッテ頂キタイト、私ハ思フノデアリマス

ソレカラモット細カイコトニナッテ傍觀ノ委員諸君ニ御氣ノ毒デアリマスガ、第六條ニ私ハ一寸懸念ノ所ガアリマス、ソレハ「新

聞紙、雜誌又ハ公私ノ報告書類ニ掲載シタル著作物ニシテ其ノ發行後三箇月ヲ經過シタルトキハ出版權ノ存續中ト雖著作權者ハ之ヲ別途ニ利用スルコトヲ得」所ガ新聞紙雜誌ニハ連續物ト云フモノガアリマシテ、此連續物ノ場合ハドウ云フ風ニ御扱ニナルカ、或ハ新聞雜誌ニ載セタモノハ三箇月經タナケレバ本ニナラナイト云フコトハ本屋ノ方ノ損デモアルシ、讀書力ノ熱烈ナ人ニ取ッテモ、希望ニ副ハナイ所以デハナイカト思フノデス、三箇月モ經タナクテモ、是ハ入レテモ宜イノデヤナイカ、將來本ニナルカラ新聞雜誌ヲ先ヅ讀マナイデ置カウト云フ傾向ハ、餘リ弊害ヲ生ズル程著シクアルマイト私ハ思ッテ居リマス、此點モ提案者ニ於テ寛大ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、一通り之ヲ閱覽サセテ戴キマシテ、直ナニ起ル疑問ト云フモノハ先ヅ是ダケデゴザイマスガ、實ハ今日ハ出版權法マデ此委員會ガ及ブマイト思ッテ、私モ一通リ目ヲ通シタダケデアリマスガ、尙ホ今後ノ質問ヲ留保サシテ戴キマシテ、一先ヅ私ノ疑問ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○山根委員 只今大養委員カラ、本法制定ノ精神ニ付テハ御尤デアルト云フ御言葉ガアリマシタ、著作家デアリマスル大養委員

カラ其御言葉ヲ戴キマシタコトハ、私共本案ヲ提出致シマシタ者トシテ、洵ニ心強ク感ズルノデアリマス、其後ニ御質問ニナリマシタ多數ノ條項ガアリマス、此條項ニ於テ私ガ今直チニ御答辯申上ゲ得ルコトモアリマスレバ、他ノ提案者ト協議致サナケレバナラヌ點モアルヤウニ感ジラレマス、本日ハ十二時既ニ半ニナッタノデアリマスガ、尙ホ法律ノ言葉等ニ付テハ専門家デアリマスル原夫次郎君ガ提案者デアリマスルカラ、本日モ來ル答デアリマシタガ、差支ガ出來テ參リマセヌカラ、此次ノ機會ニ篤ト協議ヲ致シマシテ、御答ヲ致シタイ、殊ニ今大養委員ノ御話ニナリマス點ハ、根本的反對ト云フヨリモ、大體修正的ノ御意見デアルヤウニ承ッタノデアリマスルカラ、其點ハ著作家ノ意思ヲ能ク御承知ノ大養委員ト御懇談申上ゲマシテ、若シ吾々ノ提案ニ修正スベキ箇所ガアリマスナラバ、修正致シマシテ、本案ノ通過ヲ圖リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、御答ハ協議ノ上此次ニ致ス方ガ便宜デアラウト思ヒマス

○大養委員 私ハ根本ノ御提案ノ趣意ニハ賛成ナンデス、實際社會各方面、各階級、各職業ノ方ガ協力シテ行カナケレバナラヌコトハ當リ前ノコトダト思ッテ居リマス、隨分

本屋モ御迷惑ニナル場合ガアツヤウデス、例ヘバ有島武郎全集ト云フモノハ私ハ當時モ苦々シク思ッタコトモアリマス、併ナガラ此只今問題ニナツテ居ル出版權法ハ——現實ノ出版權法ト云フモノハ、部分的ナ色々ノ疑義ト申セバ申シ得ルトモ考ヘラレマスガ、私ガ疑義ヲ申上ゲ、潛越ナガラ指摘サシテ戴イタ箇條ト云フモノハ、殆ド本案ノ骨子ヲ成シテ居ルノデ、之ヲ骨抜きニスレバ此法案ト云フモノハ致命的ニナル、私ハモウ少シ書生流ニ、ザックバラシニ山柙サンノ御許シヲ得マシテ申上ゲサセテ戴クナラバ、斯ウ云フモノヲ一ツ成立サセルト云フコトハ、日本ノ國ノ立法部ガ成ッテ居ナイノデヤナイカト云フ證明ニナリハシナイカ、大變失禮ナヤウデスガ、斯ウ云フコトヲ實ハ思ッテ居ルノデス、私ハ著作者側ヲ代表シテ申上ゲレバ、仄聞スル所ニ依リマス、千九百三十五年ニ「プラーグ」カ何處カデ著作權法ノ改正ヲヤル國際會議ガアルサウデ、之ヲ機會ニ竝行シテ出版權法ノ改正モヤッテ、同じ委員會デ膝ヲ突合セテ兩方相竝ンデ直シテ行クノガ一番宜イノデハナイカ、或ハ仰シヤイマセウ、即チソレ迄ハ待ッテ居ラレヌ、本屋ノ方ノ利益モ考ヘナケレバナラス、是モ一ツノ御議論デゴザイ

マセウガ、先程申上ゲマシタヤウニ、今ノ日本ニ於キマシテハ、佛蘭西ヤ其他歐米ノ社會的地位ト違ヒマシテ、作家ト云フモノ、地位或ハ生活力ハ非常ニ貧弱デス、之ニ反シテ出版者側ノ資本或ハ生活力、或ハ社會的地位、或ハ方々ニ話ヲ通ズル生活、實際範圍ノ廣サト云フモノハ、段違ヒデス、ソレデスカラ千九百三十五年マデ御待チニナリマシテモ、非常ニ本屋ガ此爲ニ迷惑スルト云フ事例ハ餘リ私ノ貧弱ナ頭デハ想像シ得ラレマセヌ、ソレデスカラ私トシテ公平ニ考ヘマシタナラバ、千九百三十五年ノ其會議ヲ經タル直後ニ於テ、竝立シテハ訂正シタラドウカト、ドウモ甚ダ失禮ナヤウデゴザイマスガ、此出版權法ノ提案ノ經緯ヲ考ヘマスト、提出者モ何ガ書イテアルノカ能ク知ラスト云フ方ノ方ガ多イヤウデス、況ンヤ贊成者ニ於テヤヤデ、ドウモ是ハ原夫次郎サンノ御顔ヲ潰サナイ範圍ニ於テ一ツヤリ直シタ方ガ宜イノデハナイカ、是ハ非常ナ露骨ナ話デスガ、露骨ニ言フタ方ガ委員會ノ「プロセス」ガ抄ル所以ダト思ヒマシテ、甚ダ失禮ナコトヲ言フヤウデアリマスガ、一言附加ヘマシタ

○牧野委員長 ソレデハ本日ハ此程度ニ止メマス、總テノ議案ヲ通ジテ來ル二十二日

ニ午前十時ニ委員會ヲ開キマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時三十六分散會